

「運動器スポーツ外傷・障害の保存療法」

内容の一部補足のお知らせ

株式会社南江堂 2021年3月

本書の一部内容につきまして、最新情報に基づき補足をいたします。

<競技スポーツ選手に対する「糖質コルチコイド」注射経路の禁止について>

世界アンチ・ドーピング規定により競技会（時）での糖質コルチコイドの注射経路による使用が、治療使用特例（TUE）にて申請・承認された場合を除き2022年より全面的に禁止される^{*}。競技スポーツ選手への使用はアンチ・ドーピング規則違反となり、競技会への出場資格を失うことになる点を認識しておかねばならない。

※競技会（時）の糖質コルチコイドの全ての注射経路を禁止することが、2020年9月の世界アンチ・ドーピング機関（WADA）常任理事会において承認された。注射経路の例としては、静脈内、筋肉内、関節周囲、関節内、腱周囲、腱内、硬膜外、髄腔内、滑液嚢内、病巣内（ケロイド等）、皮内および皮下などがある。しかしながら、ルール変更を十分に広く伝え、情報提供および教育について十分な時間を与えるために、常任理事会は糖質コルチコイドの全ての注射経路を禁止し新たなルールを施行するのを2022年1月1日とすることを決定した。

<出典：「主要な変更の要約と注釈」、世界アンチ・ドーピング規程 2021年禁止表国際基準，2021>